

菅平付近のハムシ科 Chrysomelidae について

(菅平の甲虫相 I)*

小林比佐雄・安藤裕

Hisao KOBAYASHI and Hiroshi ANDO : On the Family Chrysomelidae in
Sugadaira and Vicinity (The Coleopteran Fauna of Sugadaira I)

ハムシ科 Chrysomelidae は、鞘翅目 Coleoptera 多食亜目 Polyphaga に属し、カミキリムシ科 Cerambycidae、マメゾウムシ科 Bruchidae の 2 科とともに、ハムシ上科 Chrysomeloidea を構成する。

現在、我が国のハムシ類は北海道、本州・四国・九州に、千島・琉球・小笠原諸島を含め約 600 種が知られているが、菅平のハムシ類については、本実験所の所員であった鳥居酉蔵博士採集のものについて記録 (1957)** があるのみで纏った報告はない。筆者ら特に小林は、本年、東京教育大学理学部附属菅平高原生物実験所のある菅平高原とその付近のハムシ類の採集に努めた結果、かなりの種の生息を確認し得たので、安藤が今日まで採集した実験所々蔵のハムシ類の標本と併せて、菅平とその付近のハムシ類について述べたい。

各種の幼虫の食草、齢数、蛹化、出現期などにつき、簡単な説明を付した。

菅平付近のハムシ類

モモブトハムシ亜科 Zeugophorinae

1. ワモンモモブトハムシ *Zeugophora annulata* BALY
成虫の体長は 4.5mm 内外。5 月下旬に出現し、マユミの葉を食う。
2. ムナグロモモブトハムシ *Zeugophora nigricollis* JACOBY
成虫は 4 mm 内外。7 月上～中旬に出現する。

ネクイハムシ亜科 Donaciinae

3. アカスジミズクサハムシ *Donacia japana* CHÛJÔ et GOECKE
成虫は 8mm 出外。5 月下旬～6 月上旬に出現する。

クビナガハムシ亜科 Criocerinae

4. ジュウシホニアスバラガスハムシ *Crioceris quatuordecimpunctata* Sibirica WEISE
アスバラガスを食害し、終令幼虫は土中で蛹化する。成虫は 6.5mm 内外。7 月上～中旬に出現する。
5. アザミクビボソハムシ *Lema cirsicola* CHÛJÔ
幼虫は、アザミ類の葉を食う。3 令が終令。土中に浅く潜り、泡を出して繭を作り蛹化する。成虫は 5～6mm。5 月中～下旬に出現する。

* 東京教育大学理学部附属菅平高原生物実験所業績第 34 号

** 東京教育大学理学部動物学教室動物生態学研究室 (1957) 菅平産動物目録 1—24 (孔版印刷)

6. ツマキクビソハムシ *Lema diversa* BALY f. *lewisii* BALY

アカクビソハムシ *Lema diversa* BALY の 1 colour form である。成虫は 6mm 内外。7月下旬に出現し、ツユクサの葉を食う。

7. ムネボソユリハムシ *Lilioceris parvicollis* BALY

幼虫は、サルトリイバラの新芽を食う。成虫は 7.5mm 内外。6月上～中旬に出現する。

ナガツツハムシ亜科 Clytrinae

8. ヨツボシナガツツハムシ *Clytra laeviuscula* RATZBURG*

成虫は 9mm 内外。7月中～下旬に出現し、シラカンバの葉を食う。

9. キボシナガツツハムシ *Smargdina aurita* LINNÉ*

幼虫は、排泄物でつぼ状の部屋を作り。その中で生活する。成虫は 5～6mm。6月上旬頃出現し、シラカンバ、イタドリの葉を食う。

ツツハムシ亜科 Cryptocephalinae

10. キベリアオツツハムシ *Cryptocephalus fortunatus* BALY *

成虫は 5mm内外。5月中旬頃出現し、ヤナギの葉を食う。

11. バラツツハムシ *Cryptocephalus approximatus* BALY*

成虫は 4～5mm, 黒色。5月下旬頃出現し、サクラ・ズミ・ハギの葉を食う。

12. コヤツボシツツハムシ *Cryptocephalus instabilis* BALY

成虫は 5.5mm 内外。背面の黒斑には変異が多い。産下した卵を糞で包む習性がある。5月下旬に出現し、ヤマハンノキ・シラカンバの葉を食う。

13. セスジツツハムシ *Cryptocephalus inurbanus* HAROLD

成虫は 4mm 内外。5月下旬～6月上旬に出現し、ハンノキの葉を食う。

14. フタスジツツハムシ *Cryptocephalus bilineatus* LINNÉ

成虫は 2mm 内外。7月中旬～8月上旬に出現する。

15. ヨツボシツツハムシ *Cryptocephalus japonus* BALY*

成虫は 8mm 内外。6月上旬頃出現し、ヤマハンノキを食う。

16. ホソツツハムシ *Pachybrachys eruditus* BALY

成虫は 4～5mm。7月上～中旬に出現し、ハギの葉を食う。

ホソハムシ亜科 Synetinae

17. カバノキハムシ *Syneta adamsi* BALY

成虫は 4～7mm。6月下旬～7月上旬に出現し、シラカンバ、ダケカンバの葉を食う。

サルハムシ亜科 Eumolpinae

18. ハンノキサルハムシ *Basilepta balyi* HAROLD

成虫は 5mm 内外。5月下旬頃出現し、シラカンバ、ヤマハンノキの葉を食う。

ハムシ亜科 Chrysomelinae

19. ドロノキハムシ *Chrysomela populi* LINNÉ

幼虫は、ヤマナラシ、ドロノキなどを食い、3令幼虫が終令である。食樹の葉裏に下垂して蛹化する。成虫越冬をする。

成虫は 10mm 内外。5月下旬頃出現する。

20. フジハムシ *Gonioctena rubripennis* BALY*

幼虫は、フジ、ハリエンジュの葉を食い、令数は4令。終令幼虫は、落ち葉の裏で蛹化する。

る。成虫は5mm内外。5月下旬に出現する。

21. ヨモギハムシ *Oreina aurichalcea* MENNERHEIM*

本種は秋に産卵し、卵で越冬する。幼虫は春孵化し、ヨモギの葉、茎を食う。幼虫の令数は4令。終令幼虫は、土中に入って蛹化する。成虫は8mm内外。6月上～中旬に出現する。

22. クルミヒラタハムシ *Gastrolina depressa* BALY

幼虫の令数は3令で、老熟幼虫は、クルミの葉裏に下垂して蛹化する。

成虫は7.5mm内外。6月中旬～7月上旬に出現し、オニグルミ、サワグルミの葉を食う。

ヒゲナガハムシ亜科 Galerucinae

23. アザミオオハムシ *Galeruca dahli japonica* WEISE

幼虫は、フキやアザミ類を食い、老熟幼虫は、土中で蛹化する。

成虫は10mm内外。6月下旬～7月中旬に出現し、アザミ類の葉を食う。

24. イタドリハムシ *Gallerucida nigromaculata* BALY*

幼虫は、イタドリ、スイバ、ギンギンなどの葉を食い、令数は3令である。終令幼虫は土中で蛹化する。年1世代、成虫越冬する。

成虫は7.5mm内外。鞘翅の斑紋にはかなりの変異がある。5月中旬頃出現する。

25. サンゴジュハムシ *Pyrrhalta humeralis* CHEN

幼虫は、ガマズミ、ゴマギなどの葉を食い、終令幼虫は、土中で蛹化する。

成虫は6.5mm内外。5月上～下旬に出現する。

26. ニレハムシ *Pyrrhalta maculicollis* BALY*

幼虫は、ニレ、ケヤキなどの葉を食い、落ち葉の裏などで蛹化する。

成虫は6mm内外。5月下旬頃出現する。

27. キムネアオバハムシ *Agelasa nigriceps* MOTSCHULSKY

成虫は6.5mm内外。5月下旬～6月上旬に出現し、サルナシの葉を食う。

28. アオバホソハムシ *Apophyllia viridipennis* JACOBY

成虫は4mm内外。5月下旬頃出現し、ケヤキの葉を食う。

29. ミツボシハムシ *Paridea angulicollis* MOTSCHULSKY

成虫は5.5mm内外。5月下旬頃出現する。

30. ハンノキハムシ *Agelastica coerulea* BALY

幼虫は、ハンノキの葉を食い、幼虫は3令が終令。土中に入って蛹化する。

成虫は8～9mm。5月下旬頃出現する。

31. サクラケブカハムシ *Tricholochmaea semifulva* JACBY

成虫は4mm内外。5月下旬頃出現し、サクラ、ズミの葉を食う。

32. ウリハムシモドキ *Atrachya menetriesi* FALDERMANN

幼虫、成虫ともに、種々の植物の葉を食害する。

成虫は5～6mm。7月下旬～8月上旬に出現する。

33. ケブカヒゲナガハムシ *Hesperomorpha hirsuta* JACOBY

成虫は4.5mm内外。6月上旬頃出現する。

トビハムシ亜科 Alticinae

34. カタクリトビハムシ *Sangariola punctostriata* MOTSCHULSKY

成虫は6mm内外。6月上～中旬に出現し、ユリの葉を食う。

35. ノアザミトビハムシ *Argopus punctipennis* MOTSCHULSKY
成虫は 3~3.5mm。5月下旬に出現し、アザミ類の葉を食う。
36. アカバナトビハムシ *Altica oleracea* LINNÉ
成虫は 2.8~3.5mm 内外。5月中旬頃出現し、オオマツヨイグサの葉を食う。
トゲハムシ科 Hispinae
37. ヒメキベリトゲトゲ *Dactylispa angulosa* SOLSKY
成虫は 4mm 内外。5月中旬頃出現する。
カメノコハムシ科 Cassidinae
38. セスジカメノコハムシ *Cassida vibex* LINNÉ
成虫は 7.5mm 内外。5月下旬頃出現し、アザミ類の葉を食う。
39. アオカメノコハムシ *Cassida rubiginosa rugosopunctata* MOTSCHULSKY*
幼虫は、アザミ類を食い、幼虫期間は 5 令。成虫越冬をする。
成虫は 7mm 内外。5月中~下旬に出現する。
40. カメノコハムシ *Casside nebulosa* LINNÉ
幼虫は、アカザ、シロギ、ヒユ、イヌビユなどの葉を食い、終令は 5 令。年 2 回の発生で、成虫越冬する。
成虫は 7mm 内外。7月中旬~8月上旬に出現する。
41. ヨモギカメノコハムシ *Cassida fusciorufa* MOTSCHULSKY*
成虫は 6mm 内外。7月上~中旬に出現する。

菅平付近のハムシ相

昭和 49 年までに採集され、種名の判明したものは、上記の 12 亜科 30 属 41 種であるが、これ以外に未同定のものが数種ある。

菅平高原とその近傍のハムシ類は比較的種数が豊富で、個体数も多いが、ほとんどが一般的な種で、現在のところこのハムシ相には、地域的な特色は認められない。前述の菅平産動物目録(1957)に 24 種のハムシがあげられているが、それらの中で、* をつけた 10 種のものの生息は確認できたが、他の 14 種および未同定の種の検討は後日に譲りたい。

文末になってしまったが、本報の御校閲をいただき、有益な御教示をいただいた名城大学農学部の中条道夫先生に厚く御礼申し上げます。

小林比佐雄：長野県塩尻市大字宗賀 2050
安藤 裕：東京教育大学理学部附属菅平高原生物実験所

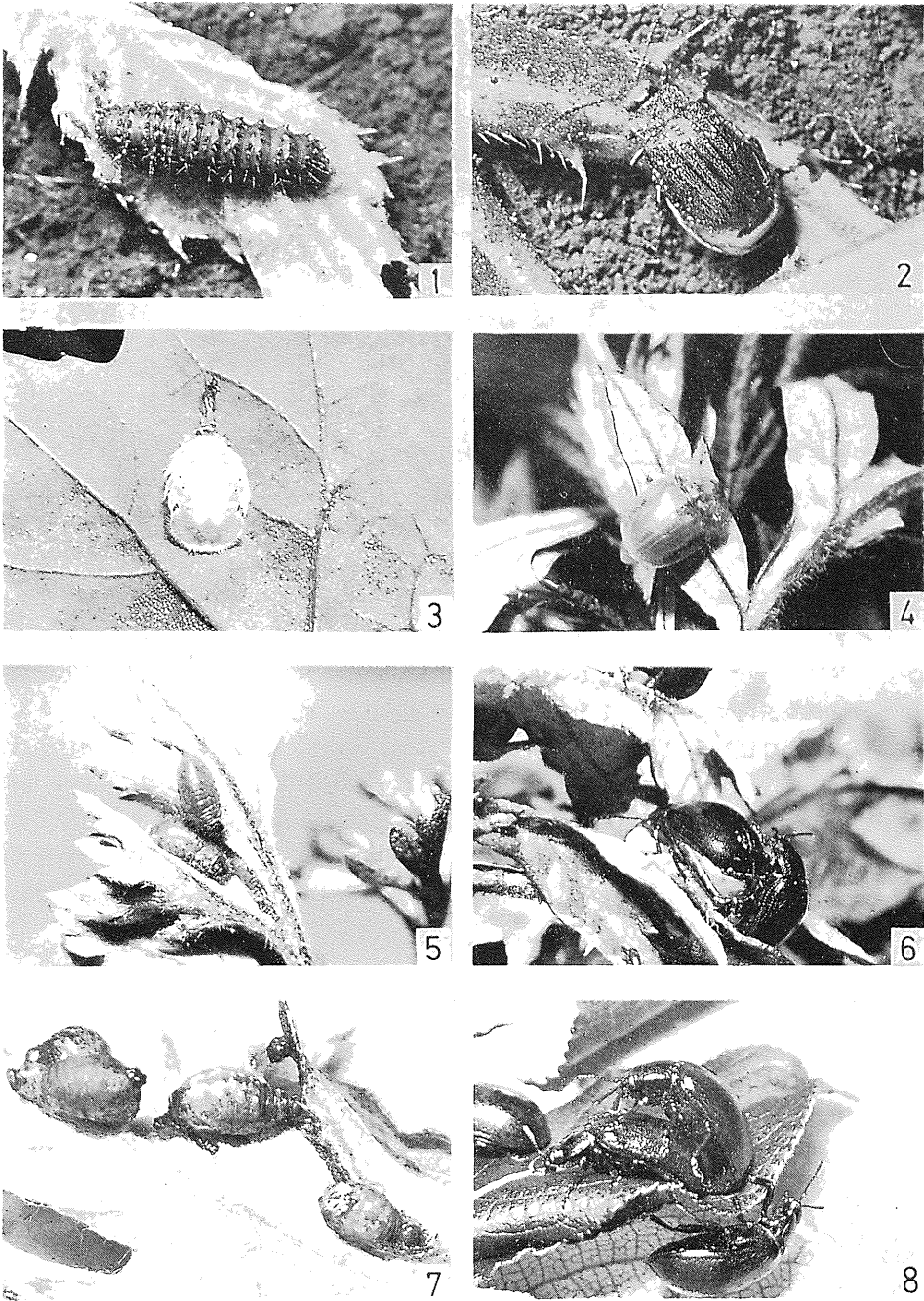


図1 1. アザミオオハムシ *Galeruca dahli japonica* WEISE の終齢幼虫 2. 同成虫
 3. カメノコハムシ *Cassida nebulosa* LINNÉ の蛹
 4. 羽化直後のヨモギカメノコハムシ *Cassida fusciorufa* MOTSCHULSKY
 5. ヨモギハムシ *Oreina aurichalcea* MENNERHEIM の脱皮直後の終齢幼虫
 6. 同成虫の交尾 7. アザミクビボソハムシ *Lema cirsicola* CHÛJÔ の終齢幼虫
 8. ドロノキハムシ *Chrysomela populi* LINNÉ の交尾